## 目 次

第 1 章	材料力学を学ぶとは?	第 7 章 柱の座屈	81
1 • 1	材料力学の目的1	7・1 安定と不安定	81
1 • 2	本書の使い方1	7・2 弾性座屈とオイラーの公式	81
1 • 3	材料力学を学ぶために必要な基礎知識2	7・3 長柱の座屈に関する実験公式	87
1 • 4	荷重の種類10	練習問題	89
	練習問題12	第 8 章 複雑な応力	01
<b>⇔</b> 0 <del>≠</del>	応力とひずみ15		
第2章			
2 • 1	応力とひずみの定義15	8・2 傾斜断面の応力	
2 • 2	基本となる考え方18	8・3 曲げ、ねじりおよび軸荷重の組合せ	
2 • 3	応力-ひずみ線図19	8・4 圧力を受ける薄肉構造物	
2 • 4	材料力学の問題の解き方22	8・5 3次元の応力状態	
2 • 5	許容応力と安全率24	練習問題	99
	練習問題26	第 9 章 エネルギー法	101
第 3 章	引張と圧縮29	9・1 ばねに貯えられるエネルギー	101
3 · 1	棒の伸び29	9・2 ひずみエネルギーと補足ひずみエネルギー・	101
3 • 2	静定問題と不静定問題33	9・3 衝撃荷重と衝撃応力	104
3 • 3	重ね合わせの原理35	9・4 相反定理とカスチリアノの定理	106
3 • 4	熱応力37	9・5 仮想仕事の原理と	
	練習問題39	最小ポテンシャルエネルギー原理	108
** 4 <del>**</del>	軸のねじり41	練習問題	····· 111
第 4 章	<b>ねじりの基本的考え方41</b>	第 10 章 骨組構造とシミュレーション	112
4 • 1			
4 • 2	軸の応力とひずみ41	10・1 トラスとラーメン	
4 • 3	ねじりの不静定問題45	10・2 マトリックス変位法	
4 • 4	円形断面以外の断面をもつ軸のねじり47	10・3 有限要素法	
	練習問題49	練習問題	122
第 5 章	はりの曲げ51	第 11 章 強度と設計	125
5 · 1	はり51	11・1 材料力学と技術者倫理	125
5 • 2	せん断力と曲げモーメント52	11・2 軸径の設計	126
5 • 3	はりにおける曲げ応力55	11・3 コイルばねの設計	127
5 • 4	曲げにおけるせん断応力58	11・4 構成式	129
5 • 5	はりのたわみ60	11・5 降伏条件	130
	練習問題64	11・6 弾性設計と極限設計	131
第6章	はりの複雑な問題67	11・7 塑性曲げと極限荷重	134
<b>第 0 章</b> 6・1	不静定はり	11・8 応力集中	136
		練習問題	137
6 • 2	特異関数による解法69   断面が不均一なはり71	練習問題解答	
6 • 3			
6 • 4	組み合せはり	第 1 章 材料力学を学ぶとは	
6 • 5	曲りはりの曲げ応力	第 2 章 応力とひずみ	
6 • 6	連続はり	第3章 引張と圧縮	
	練習問題78	第4章 軸のねじり	
		第 5 章 はりの曲げ	····· 150

第6章	はりの複雑な問題158	SUBJECT INDEX183	
第7章	柱の座屈164	索 引186	
第8章	複雑な応力167	100	
第9章	エネルギー原理170	代表的な断面形状と断面積,	
第 10 章	骨組構造とシミュレーション174	断面二次モーメント,断面係数付表(後 1)	
第 11 章	強度と設計179	はりのせん断力、曲げモーメント、	
		たわみ曲線, たわみ角 付表(後2)	

## ギリシャ文字一覧

大文字	小文字	読み	英語表記
A	α	アルファ	alpha
В	β	ベータ	beta
Γ	γ	ガンマ	gamma
Δ	δ	デルタ	delta
E	ε	イプシロン	epsilon
Z	ζ	ズィータ	zeta
Н	η	イータ	eta
Θ	θ	シータ	theta
I	1	イオタ	iota
K	κ	カッパ	kapa
Λ	λ	ラムダ	lamda
M	μ	ミュー	mu
N	v	ニュー	nu
Ξ	ξ	グザイ	xi
0	o	オミクロン	omicron
П	$\pi$	パイ	pi
P	ρ	ロー	rho
Σ	σ	シグマ	sigma
T	τ	タウ	tau
Y	υ	ウプシロン	upsilon
Φ	φ, φ	ファイ	phi
X	χ	カイ	chi
Ψ	Ψ	プサイ	psi
Ω	ω	オメガ	omega